

《問 12-4で1を選んだ方にお聞きします。》

【問 12-4-1】 それは、どのような症状でしたか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 発赤・発疹・体のかゆみ
- 2 吐き気・嘔吐
- 3 下痢・腹痛
- 4 肝機能障害 (肝臓が悪くなった、検査値が悪くなった)
- 5 腎機能障害 (腎臓が悪くなった、検査値が悪くなった)
- 6 頭痛
- 7 全身倦怠感 (体がだるくなった)
- 8 血圧上昇 (血圧が高くなった)
- 9 その他 ()

《問 12-4で1を選んだ方にお聞きします。》

【問 12-4-2】 上記の症状で、医療機関を受診しましたか。

- 1 受診した
- 2 受診しなかった

《悩みやストレスについておたずねします》

《全員にお聞きします。》

【問 13】 あなたは毎日の生活の中で、悩みやストレスがありますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

- 1 よくある
 - 2 たまにある
 - 3 あまりない
 - 4 ほとんどない
- 《問 13-1、13-2へ》
- 《問 14へ》

《問 13で1または2を選んだ方にお聞きします。》

【問 13-1】 あなたの悩みやストレスの原因は何ですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 家族との人間関係 | 14 育児 |
| 2 家族以外との人間関係 | 15 家事 |
| 3 恋愛・性に関すること | 16 教育 (学業、受験及び進学を含む) |
| 4 結婚 | 17 子供の結婚 |
| 5 離婚 | 18 就職 (求職) に関すること |
| 6 いじめ・ハラスメント | 19 自分の仕事 |
| 7 生きがいに関すること | 20 家族の仕事 |
| 8 自由のできる時間がない | 21 住まいや生活環境 |
| 9 収入・家計・借金等 | 22 (公害、安全及び交通事情を含む) |
| 10 自分の病気や介護 | 23 その他 |
| 11 家族の病気や介護 | (具体的に：) |
| 12 家族や親しい人等との死別 | |
| 13 妊娠・出産 | |

《悩みやストレスがある。たまにある(問13で1または2を選んだ)方にお聞きします。》

▶ 【問13-2】 悩みやストレスを、どのように相談していますか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 家族に相談している
- 2 友人・知人に相談している
- 3 職場の上司・同僚に相談している
- 4 公的な機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している
- 5 民間の機関の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している
- 6 病院・診療所の医師に相談している
- 7 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している
- 8 メール相談の相談員に相談している
- 9 インターネットを通じて交流の仲間に相談している
- 10 1～9以外で相談している（職場の相談窓口等）
- 11 相談したいが誰にも相談できない
- 12 相談したいがどこに相談したらよいかわからない
- 13 相談する必要はないので誰にも相談していない
- 14 その他（具体的に： _____）

《全員にお聞きします。》

【問14】 あなたは、普段の睡眠時間は足りていますか。それとも不足していますか。あてはまる番号 1 に○をつけてください。

- 1 十分足りている
- 2 ほぼ足りている
- 3 やや不足している
- 4 まったく不足している

《全員にお聞きします。》

【問15】 より充実した睡眠のために、以下のような内容が推奨されています。あなたは、この内容を実行していますか。あてはまる番号 5 に○をつけてください。

- 1 眠くなってから寝床に入り、起きる時間は遅らせないようにしている
- 2 朝、目が覚めたら日光を取り入れている
- 3 シツカリ朝食を食べている
- 4 就寝前には喫煙やカフェイン、アルコールの摂取を避けている
- 5 ぬるめの入浴など、自分に合ったリラクゼーション方法をとっている
- 6 寝室の照明が明るすぎないようにしている
- 7 就寝直前にはパソコンや携帯電話の操作などを避けている
- 8 眠れないことが続く場合は、医療機関等の専門家への相談をしている
- 9 その他（ _____ ）
- 10 特に何も行っていない

《全員にお聞きします。》

【問16】 あなたは、体を休めること以外に、趣味や運動、スポーツ、学習活動、地域活動などの余暇の過ごし方は充実していますか。あてはまる番号 1 に○をつけてください。

- 1 非常に充実している
- 2 まあ充実している
- 3 あまり充実していない
- 4 まったく充実していない

これから、**15ページ(問17-5)**までは、
 平成31年3月31日時点で、**40歳以上75歳未満**の方に
 特定健康診査・特定保健指導についてお聞きします。

次のページにお進みください →

※生年月日が1944(昭和19)年4月1日～1979(昭和54)年3月31日までの方

該当ではない方は

16ページ(問18)へお進みください。



《平成31年3月31日時点で、**40歳以上75歳未満**の方にお聞きします。それ以外の方は、問18(16ページ)へお進みください。》

特定健康診査・特定保健指導についておたずねします

【問17】 あなたは過去1年間に、特定健康診査を受けましたか。

(加入する医療保険者が実施する特定健康診査のほか、職場の事業主が実施する定期健康診断や人間ドックにおいて受けている場合も含みます)

(注) がん検診のみの受診、妊産婦健診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検診は含みません。

- 1 受けた → 《問17-1、17-2へ》
- 2 受けていない → 《問17-5へ》

《問17で1を選んだ方にお聞きします。》

【問17-1】 受診した特定健康診査の種類、方法、時期について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

特定健康診査の種類	種類・方法・時期
1 区市町村(又は区市町村国保)が実施する健診(医療機関で行う場合も含む)	
2 職場の事業主(又は加入する医療保険者(1以外))が実施する健診(医療機関で行う場合も含む)	
3 個人的に受ける健診(人間ドックなど)	
4 その他()	
特定健康診査の方法	1 個別健診(医療機関や健診機関等で個別に受ける健診) 2 集団健診(区市町村保健センター、職場等の決められた場所へ、指定された期日に出向いて受ける健診) 3 その他()
受診した時期	1 平日昼間 2 平日夜間 3 休日昼間 4 休日夜間

《問17で1を選んだ方にお聞きします。》

【問17-2】 過去1年間に受けた特定健康診査の結果、次のような指摘を受けましたか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

(注) 特定健康診査結果にあわせて書面に、「血圧が高めなので、塩分の摂取を控えましょう」「再検査を受けてください」等記載されている場合を含みます。

- 1 肥満
- 2 高血圧
- 3 糖尿病(血糖値が高い)
- 4 脂質異常(中性脂肪が高い・HDLコレステロールが低い・LDLコレステロールが高い)
- 5 1～4の指摘はなかった → 《問18へ》

《特定健康診査の結果 指摘を受けた(問17-2で1から4を選んだ)方にお聞します。》
 →【問17-3】 特定健康診査の結果、特定保健指導を受けましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

特定保健指導とは、以下に該当する方を対象としています。

対象者>	腹囲		血糖、脂質、血圧		喫煙歴		対象	
	男性	女性	2つ以上該当	1つ該当	あり	なし	40-64歳	65-74歳
男性 85 cm以上・ 女性 90 cm以上の方			1つ該当		あり	なし	積極的 支援	動機付け 支援
男性 85 cm未満・ 女性 90 cm未満の方で、 BMI(体重(kg)/身長(m) ²)が 25以上の方			3つ該当				積極的 支援	動機付け 支援
<指導の種類>			1つ該当					

● 動機付け支援…原則1回の保健指導を受けます。
 ● 積極的支援…3～6か月の間、複数回、継続的に保健指導(面接・電話・メールなど)を受けます。

- 1 受けた → 《問17-3-1へ》
 2 特定保健指導の案内はあった(利用券が送付されてきた)が受けなかった → 《問17-3-3へ》
 3 特定保健指導の案内はなかった → 《問17-4へ》
 4 わからない → 《問17-4へ》

《問17-3で1を選んだ方にお聞します。》
 →【問17-3-1】 受けた特定保健指導は、どのようなものでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 動機付け支援(面談などによる、1回の指導)
- 2 積極的支援(面談、電話、メールなどにより3か月から6か月の間、継続的に行われる指導)
- 3 その他()
- 4 覚えていない

《問17-3で1を選んだ方にお聞します。》
 →【問17-3-2】 特定保健指導で計画した内容をどの程度実行していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 おおむね実行している
- 2 一部実行している
- 3 実行していたが、継続していない
- 4 実行していない

《問17-3で2を選んだ方にお聞します。》
 →【問17-3-3】 特定保健指導を受けなかった理由は何ですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 現在、健康に問題はなく必要性を感じないから
- 2 指導を受けなくても生活習慣改善について知識があり必要性を感じないから
- 3 いつも同じことを言われるから
- 4 どのような指導内容かわからないから
- 5 忙しかったから、時間がとれなかったから
- 6 費用がかかるから
- 7 医者にかかっているから
- 8 その他(具体的に:)

《特定健康診査の結果 指摘を受けた(問17-2で1から4を選んだ)方にお聞します。》
 →【問17-4】 医師機関を受診するように勧められましたか。
 (注) 検査目的の受診は除きます。

- 1 はい → 《問17-4-1へ》
 2 いいえ
 3 覚えていない → 《問18へ》

《問17-4で1を選んだ方にお聞します。》
 →【問17-4-1】 その後、医師機関に行きましたか。

- 1 はい → 《問18へ》
 2 いいえ

《特定健康診査を受けていない(問17で2を選んだ)方にお聞します。》
 【問17-5】 特定健康診査を受けなかった理由は何ですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから
- 2 毎年受ける必要性を感じないから
- 3 医者にかかっているから
- 4 どこで受けられるかわからないから
- 5 検査がこわい(苦痛)から
- 6 忙しかったから、時間がとれなかったから
- 7 結果が不安だから
- 8 費用がかかるから
- 9 忘れていたから
- 10 その他(具体的に:)

がん検診についておたすねします

《全員にお聞きします。》

【問 18】 あなたはがん検診を定期的に受診していますか。各検診の受診状況について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。
(注) これらのがん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものと含みます。

	1	2	3	4	5	6	7
胃がん検診	1	2	3	4	5	6	7
大腸がん検診	1	2	3	4	5	6	7
肺がん検診	1	2	3	4	5	6	7
女性のみ							
乳がん検診	1	2	3	4	5	6	7
子宮頸がん検診	1	2	3	4	5	6	7

肝炎ウイルス検査についておたすねします

《全員にお聞きします。》

【問 19】 あなたは、区市町村や保健所で肝炎ウイルス検査が行われていることを知っていますか。

肝炎ウイルス検査は、B型・C型肝炎ウイルスへの感染の有無を測る血液検査です。感染すると、気づかないうちに肝臓の炎症が進み、慢性肝炎となり、肝硬変や肝臓がんに行進する場合がありますが、検査で感染を発見し、早期の受診、適時適切な治療につなげることで、進行を抑えることや完治することが期待できます。

- 1 知っている
- 2 知らない

糖尿病についておたすねします

《全員にお聞きします。》

【問 20】 糖尿病は、生活習慣の改善による発症予防が大切ですが、あなたは、以下の内容を知っていましたか。知っていることについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 糖尿病は大きく分類すると、膵臓のインスリンを作る細胞が破壊され、体の中のインスリンの量が絶対的に足りなくなることによって発症する1型と、過食や運動不足などの生活習慣等によるインスリンの作用不足により発症する2型があり、日本人の糖尿病の多くは2型である
- 2 肥満の人は糖尿病になりやすいが、欧米人と比べてもとインスリン分泌能力が低い日本人・アジア人は太っていないなくても糖尿病になる危険性がある
- 3 糖尿病を予防するには、適切な量と質の食習慣や、階段利用などの日常生活の工夫による運動習慣に気を付けるとともに、ストレッチをためない生活習慣の実践をすることが大切である
- 4 インスリンの働きを悪くする要因として、ストレッチも関連していると考えられるため、夜更かしを抑えて適切な睡眠をとり、趣味を楽しむなど、心にゆとりを持つことが大切である
- 5 いずれも知らない

※インスリン：体の中で唯一血糖値を下げるホルモンで、食後に血糖値が上がらないように調節する働きなどがある。

《全員にお聞きします。》

【問 21】 あなたは、健診等の検査の結果、糖尿病といわれたことがありますか。あてはまる番号 1 に○をつけてください。

- 1 「血糖値が高い」「糖尿病の境界型」「糖尿病の気がある」「糖尿病になりかけている」などといわれたことがある
- 2 「糖尿病である」といわれたことがある
- 3 何もいわれたことはない → 【問 22へ】
- 4 健診、検査を受けていない

《問 21 で 1 または 2 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 21-1】 食事指導や運動指導、糖尿病の治療を受けたことがありますか。あてはまる番号 1 に○をつけてください。

- 1 現在、受けている
- 2 以前に受けたことがあるが、現在受けていない
- 3 まったく受けたことがない → 【問 22へ】

《問21-1または2を選んで方にお聞きします。》

→【問21-1】 その内容はどのようなものでしたか。受けたことのあるものについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 食事指導
- 2 運動指導
- 3 飲みぐすり
- 4 インスリン注射
- 5 その他 ()

《全員にお聞きします。》

【問22】 糖尿病が悪化することで、次のような状態になることをご存知ですか。知っていることについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 腎臓の機能が低下し、放置し症状が進むと人工透析が必要な状態になる
- 2 手足のしびれや痛み、感覚が鈍くなるなどの症状がでる
- 3 眼の網膜にある血管がつまりたり出血しやすくなり、放置し症状が進むと失明にいたることがある
- 4 心臓の血管がつまりやすくなり、心筋梗塞や狭心症などの心臓病を起しやすいく
- 5 脳の血管がつまりやすくなり、脳梗塞などを起しやすいく
- 6 いずれも知らない

結核についておたずねします

《全員にお聞きします。》

【問23】 あなたは、この1年以内に住民健診や職場の健康診断で胸のレントゲン検査を受けたことがありますか。

- 1 受けたことがある →《問24へ》
- 2 受けたことがない →《問23-1へ》

《問23で2を選んで方にお聞きします。》

→【問23-1】 胸のレントゲン検査を受けなかったのはなぜですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから
- 2 どこで受けられるのかわからないから
- 3 受ける機会がないから
- 4 時間がとれなかったから
- 5 医者にかかっているから
- 6 妊娠中だから
- 7 費用がかかるとから
- 8 その他 (具体的な)

《全員にお聞きします。》

【問24】 あなたは、結核について次のようなことをご存知ですか。知っていることについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 日本では、かかる人がまだたくさんいる
- 2 感染してもすぐに発病するとは限らない
- 3 きちんと薬を飲めば治る病気である
- 4 発見が遅れると重症化する
- 5 周りの人にうつすおそれのある病気である
- 6 結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳・たん・微熱など、風邪の症状と似ている
- 7 2週間以上、咳が続くときは、結核にかかっている可能性がある
- 8 東京では、全国と比べて、20歳代の結核が多い
- 9 全国的に、80歳以上の結核が多い
- 10 職場の定期健診の胸部レントゲン検査は、結核の早期発見につながる
- 11 相談は保健所で受けられる
- 12 治療費の一部を公費で負担する制度がある
- 13 感染した場合、入院しなければならぬことがある
- 14 いずれも知らない

医療機関の受診状況についておたずねします

《全員にお聞きします。》

【問 25】 この1年間に病院や診療所を受診しましたか。

- 1 はい → 《問 25-1、問 25-2へ》
- 2 いいえ → 《問 26へ》

《問 25 で 1 を選んだ方にお聞きします。》

【問 25-1】 どのような傷病で受診しましたか。次の中からあてはまる全ての傷病名の番号に○をつけてください。

また、その中で最も気になる傷病名の番号を番号記入欄に記入してください。

受診した傷病が1つの場合は、その番号を番号記入欄に記入してください。

(内分泌・代謝障害)	1 糖尿病	2 肥満症	3 脂質異常症 (高コレステロール血症等)	4 甲状腺の病気
(精神・神経)	5 うつ病やその他のこころの病気	6 認知症	7 パーキンソン病	8 その他の神経の病気(神経痛・麻痺等)
(眼・耳)	9 眼の病気	10 耳の病気		
(循環器系)	11 高血圧症	12 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	13 狭心症・心筋梗塞	14 その他の循環器系の病気
(呼吸器系)	15 急性鼻咽頭炎(かぜ)	16 アレルギー性鼻炎	17 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	18 喘息
	19 花粉症	20 その他の呼吸器系の病気		
(消化器系)	21 胃・十二指腸の病気	22 肝臓・胆のうの病気	23 その他の消化器系の病気	
(歯)	24 歯の病気(虫歯を含む)			
(皮膚)	25 アトピー性皮膚炎	26 その他の皮膚の病気		
(筋骨格系)	27 腰痛	28 関節リウマチ	29 関節症	30 肩こり症
	31 腰痛症	32 骨粗しょう症		
(泌尿生殖器系)	33 腎臓の病気	34 前立腺肥大症	35 閉経期又は閉経後障害(更年期障害等)	
(損傷)	36 骨折	37 骨折以外のけが・やけど		
(その他)	38 貧血	39 血液の病気	40 悪性新生物(がん)	41 妊娠・産褥(切迫流産・前置胎盤等)
	42 不妊症	43 その他	44 不明	

最も気になる傷病名の番号記入欄

.....

番

《医療機関を受診した(問 25 で 1 を選んだ)方にお聞きします。》

【問 25-2】 最も気になる傷病名について、受診した病院または診療所の所在地(区市町村名)はどこですか。最も気になる傷病名について、病院と診療所を両方受診した場合は、それぞれご記入ください。

病院所在地 区・市・町・村

診療所所在地 区・市・町・村

※ 病院とは、20床以上の入院施設が整った医療機関をいいます。
 診療所は、入院施設を有しているが20床に満たない、または、まったく入院施設がない医療機関のことをいい、「○○○医院」「□□クリニック」「◇◇◇診療所」などの名称が多く用いられています。

※ 都外の病院・診療所を受診した場合も、市町村名をご記入ください。

医療情報についておたずねします

《全員にお聞きします。》

【問26】 医療情報はどのようにして入手していますか。あてはまる番号全てに○をつけてください。
また、あてはまる番号のうち主なものを3つまで番号記入欄に記入してください。

Form with two columns of options (1-16) and a box for entering 3 main numbers. Includes categories like '雑誌・テレビ等' and '医師からの情報'.

《全員にお聞きします。》

【問27】 あなたが病院や診療所などの医療機関を選ぶために欲しい情報はどのような情報ですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。
また、あてはまる番号のうち主なものを3つまで番号記入欄に記入してください。

- 1 かかりたい医療機関の所在地・連絡先等
2 診療日・診療時間
3 医師・看護師などのスタッフの人数
4 医師・歯科医師の氏名、略歴、専門分野など
5 医療機器の保有状況
6 実施している手術・治療の内容や件数等の診療実績
7 連携している医療機関名
8 病室や待合室などの施設設備の快適さ
9 診療以外のサービスの実施の有無(人間ドック、健康診断、健康相談など)
10 診療にかかるとの自己負担の額(差額ベッド代など)
11 第三者評価機関(日本医療機能評価機構など)が実施した病院の評価結果
12 運営方針や患者サービスの基本方針
13 医療費や診療内容に関する相談窓口の有無(医療費や診療内容に関することなど)
14 セカンドオピニオンサービスの有無
15 その他(具体的に:)
16 特にない

Diagram showing a box for '番号記入欄' with an arrow pointing to a row of three boxes for entering numbers.

がん医療・在宅医療・リハビリテーション医療についておたずねします

《全員にお聞きします。》

【問28】 がん医療対策について、どういったことに力を入れてほしいと思いますか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 高度ながん医療の提供(患者の病状にあわせ、高い水準で適切な治療が受けられるような体制の整備)
2 がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などの育成
3 がん患者や家族が、治療法や不安・悩みなどを気軽に相談できる窓口の充実
4 緩和ケアの充実
5 がん医療に関する情報の提供
6 住み慣れた家庭や地域で療養ができるような在宅医療体制の充実
7 働きながら治療が可能な医療提供体制の整備、都民や企業等への理解促進
8 医療連携体制の整備
9 がん登録の推進
10 その他()
11 特にない

※緩和ケア: がん治療の初期段階から、がん患者の身体的・精神的な苦痛を取りのぞき、患者と家族にとって、自分らしい生活を送れるようにするための医療
※医療連携体制: 高度ながん医療を提供できる病院、地域の病院、かかりつけ医等、必要に応じて各医療機関が連携し、切れ目のない医療の提供を行うこと。
※がん登録: 今後のがん治療に役立てるため、ひとりひとりのがん患者に関する診断・治療データや、その後の経過、生存状況について、統計情報を得るもの

《全員にお聞きします。》

【問29】 もしもご自身ががんと診断された場合、専門の相談窓口へ相談したいと思うのはどのようなものですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

- 1 がんの治療法
2 治療による副作用と対処方法
3 痛みなど体の不調
4 不安な気持ちへの対応
5 治療費等の経済的負担
6 家族
7 家事、子育て、介護
8 食事や運動など生活への影響
9 仕事への影響
10 周囲の人への伝え方や相談の仕方
11 専門的な医療を受けられる医療機関
12 セカンドオピニオンの方法
13 医師や看護師等の医療者との関係
14 在宅療養を支えてくれる医療・介護施設
15 がんに関する情報の収集方法
16 その他(具体的に:)
17 特にない

《全員にお聞きします。》

【問 30】 在宅医療についてうかがいます。脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、理想として自宅で療養を続けたいと思いますか。

- 1 そう思う
- 2 そう思わない
- 3 わからない

《問 30 で 1 を選んだ方にお聞きします。》

【問 30-1】 ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。

- 1 実現可能だと思う
- 2 実現は難しいと思う → 《問 30-1-1 へ》
- 3 わからない

《在宅療養の実現は難しいと思う(問 30-1 で 2 を選んだ方)方にお聞きします。》

【問 30-1-1】 実現は難しいと思うのは、なぜですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。また、あてはまる番号のうち主なものを3つまで番号記入欄に記入してください。

- 1 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから
- 2 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- 3 訪問診療・往診してくれる医師がいないから
- 4 地域の訪問看護や介護の体制が不十分だから
- 5 家族に負担をかけるから
- 6 介護してくれる家族がいないから
- 7 療養できる部屋やトイレなど自宅環境が整っていないから
- 8 お金がかかるから
- 9 その他 ()
- 10 特に理由はない

○をつけた番号の中で主なものを3つまで番号記入欄

--	--	--	--	--	--

番

《問 30 で 1 を選んだ方にお聞きします。》

【問 30-2】 あなたは、自分の最期をどのように過ごしたいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 自宅で最後まで療養したい
- 2 自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要になったら特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
- 4 その他 ()
- 5 わからない

《全員にお聞きします。》

【問 31】 あなたは、リハビリテーションまたは在宅医療を利用したことがありますか。利用したことがあるものについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。また、「回復期リハビリテーション」または「訪問診療」を利用した場合は、その医療機関の所在地をそれぞれ記入ください。

リハビリテーション、在宅医療の両方にお答えください。

リハビリテーション	在宅医療
1 回復期リハビリテーション 利用した医療機関の所在地 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 区市町村 <small>※都外の場合も、市町村名をご記入ください。</small>	1 訪問診療 利用した医療機関の所在地 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 区市町村 <small>※都外の場合も、市町村名をご記入ください。</small>
2 通所・通院リハビリテーション 3 訪問リハビリテーション その他 (医師の指示のもと自宅で行うリハビリテーションなど) 5 利用したことがない	2 訪問看護 3 利用したことがない

※回復期リハビリテーション
脳卒中や骨折などの病気で、急性期治療が終わって、リハビリが必要(家に帰れる状態ではない等)な場合に、入院してリハビリテーションを行うこと。

※通所・通院リハビリテーション
施設や医療機関に通って行うリハビリテーションのこと。

※訪問リハビリテーション
理学療法士等が自宅を訪問して行うリハビリテーションのこと。

※訪問診療
自宅において療養を行っていて、通院が困難な場合に、定期的に医師が訪問して行う診療のこと(備科においては、歯科医師が居宅を訪問して行う診療のこと)。

※訪問看護
自宅において継続して療養を受ける場合に、看護師等が自宅に訪問して行う看護(療養上の世話または必要な診療の補助)のこと。

保健医療施策等についてご存知かおたずねします

《全員にお聞きします。》

【問 32】 このアンケートに答えていただく以前から、以下の項目について、内容をご存知ですか。あてはまる番号をそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。なお、「知っている」は、利用経験の有無別（一部を除く）にお選びください。

項目	知っている		自身は知らないが 周囲に聞いたことがある	知らない
	利用経験あり	利用経験なし		
1 保険適用による禁煙治療	1	3	4	5
2 8020 運動（産科）	1	4	4	5
3 特定健診・特定保健指導	1	5	4	5
4 どうきまや健康エクスプレス	2	3	4	5
5 フレイル	1	3	4	5
6 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」	2	3	4	5
7 「暮らしの中の医療情報ナビ」	2	3	4	5
8 緩和ケア	1	4	4	5
9 がん登録	1	4	4	5
10 救急医療の東京ルール	1	4	4	5
11 救急相談センター（＃7119）	2	3	4	5
12 救急搬送トリアージ	1	4	4	5
13 救急外来トリアージ	1	4	4	5
14 子供の健康相談室（小児救急相談）（＃8000）	2	3	4	5
15 「東京都子ども医療ガイド」	2	3	4	5
16 妊娠相談はつどやいし	2	3	4	5
17 不妊・不妊サポートライン	2	3	4	5
18 COPI（慢性閉塞性肺疾患）	1	4	4	5

1 保険適用による禁煙治療

一定の条件（ニコチン依存のスクリーニングテストで「ニコチン依存症」と診断される等）を全て満たして医師が必要と認めた場合、禁煙補助薬（ニコチンパッチやバロニクリン）の処方や禁煙実行のためのアドバイスなどの禁煙治療が一定期間保険適用となります。

2 8020 運動（産科）

おいしく食べて、健康で長生きをするために一生自分の歯を保つことを目指して「80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保とう」という運動。厚生労働省と日本歯科医師会の呼びかけで、平成元年から進められています。

3 特定健診・特定保健指導

40歳から74歳の方にメタボリックシンドロームに該当した健診を受けていただき、その結果、生活習慣病の発症のリスクがあり、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が大きく期待できる方に対して、生活習慣を見直すサポートを実施するものです。平成 20 年度から医療保険者が実施しています。

4 どうきまや健康エクスプレス
市民の健康づくりを支援するため、生活習慣を手エツクできるコンテンツや、がんなどの生活習慣病に関する情報などを掲載したポータルサイトです。

5 フレイル

加齢とともに、心身の活力（例えば筋力や認知機能等）が低下し、生活機能障害、要介護状態、そして死などの危険性が高くなった状態をいうが、一方で、適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能なたげ画像

6 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」

医療機能情報提供制度に対処し、都内の医療機関から報告を受けた情報をインターネットを通じて公表しています。自宅や勤務先など、指定した所在地に近い医療機関を探ことができ、また、診療科目や外来受付時間、交通手段などの情報ははじめ、診療機器、対応可能な検査や病気など、医療機関に関する詳細な情報を得ることができます。

7 「暮らしの中の医療情報ナビ」

医療を受ける際の仕組みや医療費について、正しく理解し、医療機関への適切な受診を支援するため、小冊子やホームページによる情報提供を行っています。

8 緩和ケア

がん治療の初期段階から、がん患者の身体的・精神的な苦痛を取りのぞき、患者と家族にとって、自分らしい生活を送れるようにするための医療

9 がん登録

今後のがん治療に役立てるため、ひとりひとりのがん患者に関する診断・治療データや、その後の経過、生存状況について、統計情報を得るもの

10 救急医療の東京ルール

迅速・的確な救急医療体制の確保に向け、東京都が平成 21 年度から開始した新たな取組。救急患者受入のための仕組みの強化や、救急医療の適正利用に向けた普及啓発などからなります。

11 救急相談センター（＃7119）

救急車を呼んだ方がいいかどうか判断に迷った時に、救急隊経験者や看護師等がアドバイスをするシステム

12 救急搬送トリアージ

救急車を呼んだ時に、緊急性の認められない傷病者に対して、本人の同意の上で、自分で医療機関に行ってもらうシステム

13 救急外来トリアージ

専門的な知識をもった看護師等が、救急外来で診療の優先順位を判断し、緊急度が高い患者を優先して診療をするシステム

14 子供の健康相談室（小児救急相談）（＃8000）

子供の健康上の相談、育児相談、妊娠中の健康の相談など、母と子の健康に関する相談に、経験豊富な保健師や助産師がお答えしています。また、必要に応じて小児科医師が対応します。（電話相談のため、医師が診断をするものではありません。）

＜実施時間帯＞ 月曜日～金曜日（休日・年末年始を除く） 午後6時～翌朝8時
土日・休日・年末年始 午前8時～翌朝8時

15 「東京都子ども医療ガイド」
主に0歳から就学前までの子供の「病気やけがの対処の仕方」「病気の基礎知識」「子育てアドバンス」等の情報提供を行っているホームページです。携帯電話やモバイル端末でも利用することができます。

16 妊娠相談ホットライン
妊娠・出産に関する様々な悩みについて、看護師等が電話またはメールで相談に応じています。

＜電話受付時間帯＞ 月曜日～日曜日（元日はお休み） 午前10時～午後10時

17 不妊・不育ホットライン
不妊・不育に関する悩みについて、専門のカウンセラーが電話で相談に応じています。

＜実施時間帯＞ 毎週火曜日（祝日・年末年始を除く） 午前10時～午後4時

18 COPD（慢性閉塞性肺疾患）
COPDは、有害な粒子やガスの吸入による進行性の疾患です。主な原因は喫煙で、他に粉塵や化学物質などが考えられます。重症化すると、酸素吸入が必要になるなど、生活に大きく影響します。

ご意見・ご要望

東京都の保健医療行政についてご意見やご要望がありましたら、お聞かせください。

◆ 長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございます。
◆ この調査の結果は、まとまり次第公表し、東京都の福祉保健施策の重要な基礎資料とします。

調査担当
東京都 福祉保健局 総務部 総務課
統計調査担当（福祉保健基礎調査担当）
電話 03-5321-1111（代表）
内線 32-017、32-018

発行

東京都
東京都新宿区西新宿二丁目八番一号
電話 〇三(五三二)一一一(代)

郵便番号
163-8001

定価

本号
一箇月 七〇円
六、六〇〇円
(郵送料を含む。)

印刷所

勝美印刷株式会社
東京都文京区白山一丁目十三番七号
電話 〇三(三八二)五二〇一(代)

郵便番号
113-0001

